

連合寄付講座で、米田副委員長・小山副書記長が講義

生保産業の仕事や働き方について学生たちに語る

生保労連では、生保産業や労働組合の役割について理解浸透・拡大をはかるため、連合の関連団体・教育文化協会が実施する「連合寄付講座」等に講師を派遣しています。4月26日には同志社大学で米田副委員長が、5月28日には中央大学で小山副書記長が学生たちに講義を行いました。講義では、生保産業におけるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組みや、男女共同参画の重要性等について、自身の経験談や生保労連の取組み等を交えながら説明しました。また、リーフレット「自分らしく生きるために！」を活用し、学生たちに生活設計の重要性を伝えました。



▲リーフレット「自分らしく生きるために！」

同志社大学の様子

4月26日の同志社大学では、「総労働時間の短縮とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組み」をテーマに講義を行いました。生保産業の紹介や、仕事内容、生保労連の活動等について触れ、ワーク・ライフ・バランスの必要性を分かりやすく説明しました。

学生たちに熱く語る米田副委員長▶



中央大学の様子

5月28日の中央大学では、「生保産業における男女共同参画・仕事と生活の両立に向けた取組み」をテーマに講義を行いました。男女がともに働きやすい職場づくりを実現するための取組み事例を挙げ、自身の経験も踏まえながら学生たちに説明しました。

学生からの質問に答える小山副書記長▶



学生の感想

- ◆生命保険と損害保険の違いや、対面で商品説明を行うことの重要性を理解できた。
- ◆働き方改革について、企業の具体的な取組み事例を聴くことができ、非常に参考になった。
- ◆ワーク・ライフ・バランスの推進は、女性の働きやすさの向上や活躍促進につながり、そのことが、新たな労働力を生み、現状の人手不足や経済の停滞などの課題を解決するのではないかと思った。

学生の感想

- ◆生保労連では男女がともに輝ける職場をめざしていることが分かり、生保業界についてもう少し調べてみたいと思った。
- ◆生保業界では、女性が働きやすい環境づくりに向けて様々な取組みが行われていることを知った。これから、ますます働き方が変わっていく中で、男性も育児休暇の取得や時短勤務を行うようになっていくことが、仕事と生活の両立に向けた第一歩なのではないかと思った。
- ◆社会人になるにあたっての心構えをアドバイスいただけで良かった。